



図書館から

新しい本が入りました

人生に七味あり

江上 剛／著

小説

送別会の帰途、辻占いの老女から「とうがらしが待つ」と言われ……。絶望しつつも前を向く、巻き返しサラリーマン小説。



できることをしよう。

糸井 重里／著

一般書

災いをバネに必死で知恵を絞った人たちがいた。「ほぼ日刊イトイ新聞」に掲載され、熱い共感の渦を巻き起こした震災関連の話題作。



希望の筆 ダウン症の書家・金澤翔子物語

丘 修三／作

児童書

「翔子ちゃんの書を見ると、はげまされる」。ダウン症という障害を持って生まれてきた金澤翔子さん。その道徳と素顔を紹介。



町制施行 60周年記念

「人情北見路旅芝居がくる」 舞台の熱演に大きな拍手



町制施行60周年記念事業「人情北見路 旅芝居がくる」が1月22日、町公民館で行われました。舞台で繰り広げられる熱演に、観客から大きな拍手が送られていました。

劇は、訓子府出身の松岡義和さんが脚本と演出を担当し、スタッフには、北見市内外の劇団員のほか、町民の方も参加しました。

戦後が舞台となっており、東京の旅芸人一座が「訓子府座」を訪れ、地域住民らと交流する構成となっている。訓子府座は、現在の町中心部にあった劇場で、この近くに松岡さんが住んでいた。

観客、スタッフ合わせて約350人が会場を埋め、笑いと涙の劇に歓声と拍手が沸き起こっていました。

上手になったよ！

少年少女スキー 教室に 50 人



初心者を対象にした少年少女スキー教室が1月11日から13日までの3日間、レクリエーション公園内の町営スキー場で開かれ、幼稚園児と小学生約50人が参加しました。

初めてスキーに挑戦する子どももあり、平地での歩き方をはじめ斜面の上り方など基本的な練習や、スキーを「ハ」の字に開いて滑るボーゲンなどを行いました。

寒さが厳しい中、子どもたちは元気にスキーを滑り、すぐに上達しました。

ピンポン大会で熱戦を展開

訓子府卓球協会主催の第30回地域対抗ピンポン大会が、1月15日スポーツセンターで約30人が参加して開かれました。



団体は男女合わせて9チーム、ダブルスに16組が出場しました。参加者は、強烈なスマッシュを決めるなど、熱戦を繰り広げました。

成人式

振り袖など着飾り大人の仲間入り



祝



平成24年訓子府町成人式が、1月8日公民館で行われました。対象は、男女合わせて62人で、このうち男性31人、女性27人の58人が出席、多くの方の祝福を受けました。

一生に一度の式典は、天候にも恵まれ、新成人がスーツや振り袖などに身を包み、会場入り。式典では、町民憲章を朗唱したあと、新成人を代表して織田未咲さん（東町）に記念品が贈呈され、須河純輝さん（東町）が「責任ある社会人として成長したい」と誓いの言葉を述べました。

交流パーティーでは、久しぶりに再会した同級生と記念撮影したり、お酒を飲みながら、楽しいひとときを過ごしていました。



防火の誓い新たに

消防団が出初式

訓子府消防団の出初式が、1月5日行われました。団員80人が参加、消防車両11台が出動し、消防庁舎前で観閲が行われたあと、町中心部をパレードしました。

団員はきびきびとした動作で行進し、今年1年の防火の誓いを新たにしていました。

また、大勢の町民の方もパレードを見に訪れ、団員同様に災害のない1年を願っていました。

